

吾妻山砂防通信

天沼のへつり R3.11月撮影

第67号

管内工事をご紹介します

来春の完成を目指しています!!

下高湯沢第1砂防堰堤工事

【施工業者】 富久泉工業株式会社

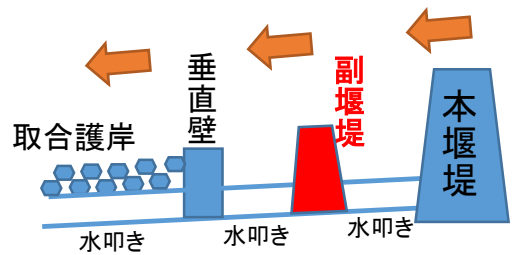
【施工場所】 福島市町庭坂神ノ森地内

＜工事内容＞

現在、副堰堤を設計高さの13.8mまで上げるため、残存型枠を使用して、コンクリートを打設する工事が行われています。

＜堰堤概念図＞

← 土石流等の流れ



※本堰堤・副堰堤・垂直壁で構成され、流末に異形ブロック370個を配置した取合護岸といった構造物からできています。

＜現場代理人から一言＞



工事を担当している、富久泉工業の阿部です。高湯温泉を大雨による土石流から守るため、下高湯沢の上流で砂防堰堤工事を行っています。高湯街道を通行される地元の方々や、観光客の皆様にはご不便をお掛け致しますが、安全第一で施工していますのでご理解とご協力をお願い致します。



土石災害が起こる前に防ぐのですね!!



～工事状況をお知らせします～

【残存型枠工】とは？

コンクリート構造物の打設に必要な不可欠な型枠を薄肉コンクリート製型枠にすることで、型枠脱型を不要にした、環境問題への対応とコストメリットを両立させた工法です。



▲副えん堤袖部の高さを13.8mまで上げる残存型枠立て込み作業中



▲下高湯沢第1砂防堰堤上空写真



工事現場の防寒対策

工事現場は標高900mに位置し、初雪が早いいため作業者の防寒対策として、10月下旬からは全車スタッドレスに履き替え突然の雪に備えて雪道対策をしています。



本堰堤

副堰堤

磐梯吾妻スカイライン

冬期通行止めのお知らせ

2021年11月15日(月)17:00～
2022年4月上旬以降(予定)

磐梯吾妻スカイラインの通行止めについて
福島県ホームページ (fukushima.lg.jp)



10月26日(火)、庭坂小学校の4年生60名を対象に、福島河川国道事務所の三浦専門調査官等を講師として出前講座が行われました。

講座は「総合的な学習の時間」として行われ、福島市全体や庭坂地区の特徴的な地形、火山、防災、砂防についての説明を行いました。クイズコーナーでは、皆さんが積極的に発言し答えてくれました。最後に、「砂防という単語は知っていたが、どんな内容か今回わかったので勉強になった」「砂防堰堤の型式(透過型・不透過型)を学べてよかった」との感想を発表してもらう事ができました。



ふとうかがたさほうえんてい
不透過型砂防堰堤とは?

土砂が貯まることによって、川底が削られるのを防ぎます。また勾配(こうばい)がゆるくなることで水の流れが遅くなります。



天戸川第1砂防堰堤

とうかがたさほうえんてい
透過型砂防堰堤とは?

普段は水や土砂を流しますが、土石流が流れてきたときは大きな石や流木をとらえます。川の流れをせき止めないので水に住む生き物の生態系に配慮されています。



塩の川第7砂防堰堤

隠れた名所

荒川「天沼のへつり」



11月5日(金)福島河川国道事務所有志と砂防エキスパートの11名による、天沼のへつり現地調査が行われました。経路上の砂防施設や法面などに特に異常はなく、調査は無事終了しました。

天沼のへつりへは一般の方も行く事ができますが、十分な装備の上、安全に配慮してお出かけください。



荒川第5堰堤



川の中も歩いて進みます



さざれ石



天沼のへつり

ルート：荒川第5堰堤→荒川第1堰堤→さざれ石→天沼のへつり

吉井田学習センター
減災バスツアー
11月11日(木)

吉井田学習センター主催の「減災バスツアー」において、松川庁舎火山防災センターでの出前講座と不動沢第3砂防堰堤の見学を行いました。座学では積極的な質問などがあり、実際の不動沢第3砂防堰堤では、災害を未然に防ぐ施設が山奥で作られていることを知って防災の大事さを学ばれていました。



→約30分の座学では、「なるほど」「知らなかった」などの声が聞かれました。

普段あまり目にする機会はありませんが、出前講座では大きな砂防堰堤を近くで見学することができます。



「ご意見、ご感想、砂防に関すること」はこちら

◆福島河川国道事務所HP (<http://www.thr.mlit.go.jp/fukushima/>) も是非ご覧ください◆

国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所

吾妻山山系砂防出張所(本庁舎)

〒960-2156 福島県福島市荒井字地蔵原甲2-14
TEL: 024-593-0831

吾妻山山系砂防出張所(松川庁舎)

〒960-2261 福島県福島市町庭坂字遠原三3-4
TEL: 024-591-1207